

福島県知事 内堀雅雄 様

福島県総合計画審議会
会長 塩谷弘康

福島県総合計画「ふくしま新生プラン」に係る
平成30年度施策取組状況評価に関する意見書

当審議会において、平成30年度施策取組状況について審議を行った結果、下記のとおり意見をとりまとめましたので提言します。

なお、県におかれましては、当審議会の意見を尊重した対応方針を決定されるとともに、今後の施策の推進に生かされることを要望します。

記

〔提言〕

東日本大震災・原発事故から8年目を迎え、復興・創生期間が残り2年余りとなる中で、避難者の生活再建や風評・風化など、いまだ多くの課題が残されている。

総合計画に掲げる「夢・希望・笑顔に満ちた“新生ふくしま”」を実現するためには、本県の実情を踏まえ、復興・再生への取組を着実に進めるとともに、今後の人口減少・少子高齢化の進展も見据えながら、持続可能な地域社会をつくるため、以下のような取組を進めていく必要がある。

1 人と地域が輝く「ふくしま」

- **安心して子どもを生み育てられる環境の整備**
 - ・ 妊娠・出産・子育てに対する不安や負担感を軽減するための包括的で切れ目のない支援の充実
- **子どもたちが心豊かにたくましく育つ社会の実現**
 - ・ 子どもたち一人ひとりの傾向を把握し、基礎学力に加え、思考力や表現力などを高めるための教育の充実と教員に対する支援
 - ・ 放射線に関する科学的に正確な知識を身につけ、自ら判断し、行動するための力を育成するための教育の充実
 - ・ 子どもの尊厳を守り健やかな成長を支えるため、いじめや不登校、児童虐待などの未然防止策の強化と心理的ケアの充実
 - ・ 子どもの頃から地域（郷土）の魅力とともに外の世界に触れる機会の確保と充実
- **地域資源を生かした地域活性化の推進**
 - ・ 若い世代の「地元志向」や「田園回帰」の潮流が見られる中で、若者が農業や地域活性化に参加・挑戦できる環境づくりと支援の充実

- ・ 地域おこし協力隊と地域住民とが一体となり地域の課題解決を図るための双方に対する支援
 - ・ 定住・二地域居住の更なる促進に向けたきめ細かな情報発信及び、定住への支援と受入側に対するサポートの充実
 - ・ 農地や森林の適切な整備・管理と担い手を育成する仕組みの構築
- **避難者の生活再建支援**
- ・ 避難を続けている県民・事業者への多様な生活再建支援

2 いきいきとして活力に満ちた「ふくしま」

- **風評払拭とブランド力向上に向けた取組の推進**
- ・ 風評払拭のための正確な情報と県産農産物の魅力の更なる発信
 - ・ 国内外にアピールできる、魅力ある商品の開発・販売への支援
- **観光・交流の拡大に向けた取組の推進**
- ・ 観光資源のストーリー化など、県内への観光・教育旅行の回復に向けた取組の更なる推進
 - ・ 外国人観光客に対する地域の魅力の効果的な発信と受入体制の充実
- **若者の県内定着・還流に向けた取組の推進**
- ・ 新たな産業の集積・育成と既存（地場）産業の振興による、若者の定着・還流の受け皿となる魅力ある雇用の場づくりと、求職者と企業等とのマッチング等の支援の強化
 - ・ 若い世代が本県に来たい、戻りたいと思えるような、本県に住み、働く魅力の効果的な発信
 - ・ 新卒者の早期離職防止に向けた対策と離職後のサポート体制の充実・強化
- **雇用・産業人材の育成**
- ・ 中長期的な人手不足に対応するための、女性や高齢者の活躍の場の確保及び生産性の向上と産業人材の育成・能力開発の取組強化

3 安全と安心に支えられた「ふくしま」

- **医療提供体制の維持のための取組の推進**
- ・ 医療人材の偏在対策と人材確保のための取組の一層の推進
- **健康づくり・健康増進に向けた取組の推進**
- ・ 本県の自然、文化、豊かな食材など多彩な地域資源をいかし社会参加を進めることによる健康づくりの推進、健康寿命の延伸

4 人にも自然にも思いやりにあふれた「ふくしま」

- **思いやりと誇りあふれる地域づくりの推進**
- ・ 地域における世代間の交流の促進と、子どもたちが自然と触れ合う機会の確保・充実を通じた地域への愛着、誇りの醸成